

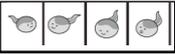
3歳児クラス 6月 第3回 「おたまじゃくしの101ちゃん」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 保：ペープサートを持って「♪チロチロパッパ チロパッパ おたまじゃくしはカエルの子～」のフレーズを楽しく歌いながら登場。オタマジャクシとカエルの親子関係にも触れつつ「これから子ども達と遠足に行くの」と会話。「いってきます」とお話をスタートさせる。 	教材	
		<ul style="list-style-type: none"> ★絵本 ★iPad(シアターセット) ペープサート (かえる・おたまじゃくし) 	
読み方	<ul style="list-style-type: none"> ①「1. 2. 3…」オタマジャクシを数える場面では、数への興味を持たせるように意識する。 ②オタマジャクシがいなくなった時のお母さんの気持ち、お母さんが倒れてしまった時のオタマジャクシの気持ちが子どもに伝わるように読む。 ③全体的に言葉も多く長いお話です。ストーリーに合わせた画面操作で動きのある展開を意識する。 	保育士の役割	
		カエルとオタマジャクシのペープサートを持って登場	

がくしゅうタイム

活動①	巧緻性	線の上を切り、4枚のカードを切り離して貼ることができる	
設問	オタマジャクシのカードをはさみで切り離して、池で泳げるようにしてあげましょう		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：「オタマジャクシさん達、また静かに暮らせるようになって良かったね」 保：「大変、うちの可愛い子ども達を助けてください」とプリントと提示用オタマジャクシカードを持って登場。 講：「カエルのお母さん、またどうしたの？」とプリントを受け取る。 保：「子ども達がくっついて、泳げないの。また喧嘩になっちゃう。助けてください」とカード提示。 講：カードを受け取る。「大変！どうしたら良い？」とカードを提示。「はさみで切れば良い」ことを子ども達から引き出し、カードのどこを切れれば良いか（線）確認して見本を見せる。 ※5月1回の「はさみの使い方確認」を参照。しっかり見本を見せながら行う。 	<p>数にチャレンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> 全部切れたところで「カードは何枚になったかな？」 子ども達と声を揃えて4枚のカードを数える。 「これでもう自由に泳げるよ」とプリントに貼っていく。(テープのゴミは皿の中) 保：「でも、まだこんなにたくさん…」と配布カード提示。 講：「みんなも助けてあげられる？」と意欲を引き出し、はさみを配布。先ずは持ち方を確認する。 保：準備の整った子からカード配布。 子：見本同様、線の上を切っていく。 講保：切る補助をしつつ、切れた子からプリントと交換ではさみを回収する。 子：プリントにオタマジャクシを貼っていく。 講：皆でプリントを見せ合い、みんなで指さしながらオタマジャクシの数を確認。「オタマジャクシさん、嬉しそうに泳いでるね。良かったね」と称賛して、そのまま活動②へ進む。 	<p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> P 1 P 1 用オタマジャクシカード 1人1枚 (両面テープ付) P 1 提示用オタマジャクシカード 1コマ1枚 ※人数が多いクラスは見やすい様にプリントを拡大して準備しても良い。 皿 (テープのゴミ入れ) ★はさみ <p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> プリント提示 カード提示 配布カード提示 ハサミ配布 カード配布 はさみの指導 ハサミの回収 プリント配布 ゴミ用皿配備 称賛
	活動②	描く	「♪まるかいてちゃん」見本提示を真似てオタマジャクシをたくさん描くことができる。
設問	「♪まるかいてちゃん」のリズムに合わせてオタマジャクシをたくさん描きましょう		

活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 講：『僕たちには101匹の兄弟がいるのに、まだまだ寂しいな…』だって、どうしようか？』 	教材
	<ul style="list-style-type: none"> 保：「これを使って、仲間を描いてあげたらどうか？」とクレヨン提示。 講：「そうだね！先生やってみる。見ててね」と見本行動。 リズムに合わせ歌いながら、「♪まるかいてちょん（〇～）」を繰り返しオタマジャクシを楽しそうにプリントに描いていく。 「みんなのオタマジャクシさんも仲間が欲しいって言うてるよ」「描けるかな？やってみよう！」とクレヨン配布。 子：講師と一緒に「♪まるかいてちょん」と歌いながら描いていく。 保：子どもの状況を見て、手を添えて補助する。 講：最後に余裕があればオタマジャクシの目を描いたり、「雨が降ってきたよ」「お腹が空いているオタマジャクシに、ご馳走をあげよう！」などと声をかけ、クレヨンでポツポツとタッピングをして楽しむ。 「そろそろみんな、お家に帰る時間だって。仲間が増えて良かったね。」と称賛し、「またねー」で活動を終了する。 	P1（活動①でカードを貼ったプリント） ★クレヨン ※予め机の上に用意しておくが進めやすい。
		保育士の役割
		<ul style="list-style-type: none"> クレヨン提示 クレヨン配布 描き方指導 称賛 プリント回収

数チャレ	数える	オタマジャクシの数（4枚）を数える	教材
設問	オタマジャクシの数を数えましょう。		
活動内容	※<活動①>の中で実施します。		保育士の役割

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	子ども達がお話の世界に入り込めるように読むことが出来たか
活動①知識	はさみの使い方の指導が丁寧に出来たか
活動②巧緻性	クレヨンの持ち方・筆圧についての指導を行えたか
数チャレ	個別の理解度に合わせて指導出来たか

楽習タイム♪

*** テーマ・描く ***

101ちゃんの仲間を描こう

- 学習タイムの中で描いた「♪〇描いてちょん（〇～）」をたくさん描いてみましょう。模造紙などの大きな紙に大きく描いてみるのも良いですね。家庭では、カレンダーの裏や大きい包装紙の裏なども活用してみましょう。
- 描くことに慣れたら「1分間に何匹描けるか」など時間を区切ったり、競争して描いてみるのも楽しいですね。



閉じた〇～をコントロールして描くことは、今後、文字を書く力にもつながります。楽しみながら繰り返し描いてみましょう。



今月のえかきリズム

*** かさ ***



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

